

NIKO

ニコ No.158



タワーづくり、おばあちゃんたちに負けないぞ！（但東 ^{ひわさか} 白和坂わいわいサロン…裏表紙でも紹介しています！）

CONTENTS

- ◆特集 国籍を越え、地域で暮らす 2～4
- ◆平成30年度緊急食料支援事業 実績報告 5
- ◆ちいきからのおしらせ 6
- ◆高齢者見守り標語～のぼり旗・クリアファイル完成!～ … 7
- ◆いろいろNIKO 8

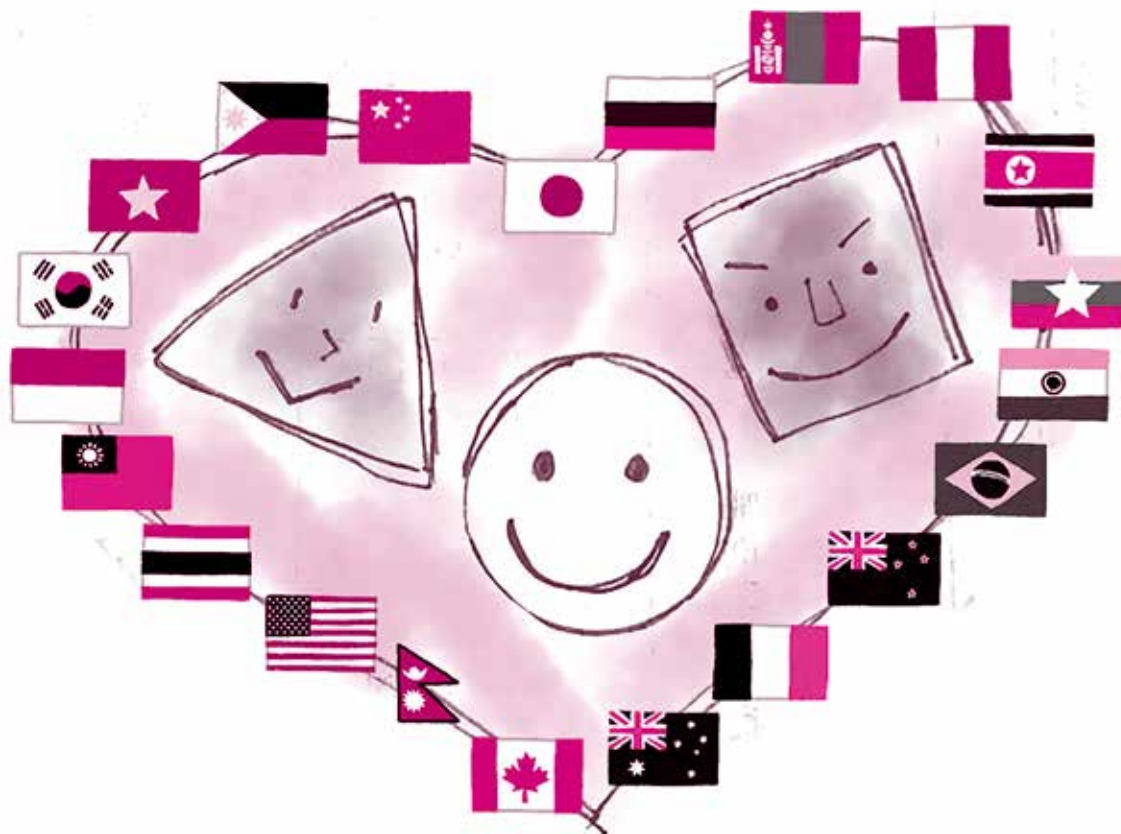
2019

5

May

豊岡市社会福祉協議会

この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金により発行しています



特集

国籍を越え、 地域で暮らす

現在、豊岡市には約700人の在住外国人がいますが、私たち地域住民と交流する機会はどれほどあるでしょうか。国籍にとらわれず、住民全員で「地域で暮らす」ために必要なことは一体何か、ある中国人女性の話をもとに考えてみたいと思います。



←「やさしい日本語版」は、こちらを見てください。
(<http://www.toyooka-wel.jp/find/magazine/2019/158>)

協力：豊岡市国際交流協会
通訳：周 海春さん

期待を胸に、いざ豊岡へ

今回お話を伺った在住外国人は、中国河北省^{かほく}出身のパン・ヤさん。卓球コーチとして活躍するご主人が豊岡市内に活動拠点を移すことをきっかけに、2016年、長男（当時5歳）を連れて来日しました。日本語が全く分からない状態での来日に、多少の不安はあったものの、家族で始める新生活への期待が大きかったと



いいです。

「ご主人が大黒柱として働く一方、パンさんは昨年生まれの次男（1歳）を育てながら、週2回、豊岡市国際交流協会の日本語教室に通っています。熱心に勉強を続けているパンさんですが「家族の中で一番日本語が上手なのは、地域の小学校に通う長男。日常的に日本人と交流しているので、自然と身についているようです」と話します。一方、パンさん自身については、地域の交流イベントなどに参加



して、日本語教室で学んだ言葉を使う機会を増やしたいと考えています。しかし、寮住まいのため、家族以外との関わりが少ないのが現状です。

日常生活での困りごとについて

日常生活で感じる困りごとは、長男が通う小学校とのやり取りだそうです。「中国は漢字文化なので、漢字交じりだと単語の意味が予測しやすいものの、ひらがなが多い文章だと、単語の区切れが分かりにくいことがあります。また、□頭でのやりとりは、日本語特有の同音異義語の聞き取りに難しさを感じます。」日本語を勉強していても、実際に使う機会が少なく、学校とのやり取りに自信がなくなる時があるようです。

言葉や文化の不安については、地域との接点を増やすことと、就職により少しずつ解消していけるとパンさんは考



えています。「次男が保育園に通えるようになったら、私も働きたいです。仕事でも日本人と交流し、つながりを深めていきたいです。地域イベントや仕事で日本人と日常的に関わりを持つことで、日本語の上達だけでなく、日本人との相互理解が生まれていくと思います。」

（次ページに続く）

外国人との交流が多い 住民の視点から

本特集では、日本語ボランティアとしてパンさんに日本語を教えている田中賀代子さんにもお話を伺いました。言葉や文化など、日本人にとつての「当たり前」が「当たり前」とは限らない外国人。外国人を含めた住民全員が「その人らしく地域で暮らす」ために、私たちにできることは何でしょうか。



田中さんは「日本人も外国人も気楽に交流できる地域のイベントなどがあれば、互いの距離を縮められるのでは」と話してくれました。

距離を縮める手段として、身振り手振りはもちろん、辞書などで事前に単語を調べたり、スマートフォンでの翻訳機能などを活用すれば、簡単なコミュニケーションができるでしょう。もし外国人世帯に閲覧板が届かず情報を入手できない場合は、地域の中で情報提供者がいると心強いかもしれません。

また、田中さんは「外国人が自国の文化について発信できれば、日本人も外国に興味があり、ともに楽しく暮らせるきっかけになると思う」とも答えてくれました。

多文化共生社会に向けて 私たちにできることは

最後にパンさんは次のように話しています。



「自然が多くて衛生的で、豊岡市は住みやすく好きです。子どもはすでに豊岡で教育を受けているし、豊岡が好きだと言っています。これからも豊岡で暮らしていきたいです。」

日本を知らないまま来日し、日本語を学びながら、地域とのつながり方を模索しつつも「これからも豊岡で暮らしたい」という言葉がとても印象的でした。

これから先、豊岡でも外国人労働者の受入れは増えていくことが予想されます。パン



さんのように「豊岡が好き」と言ってくれる在住外国人を増やしていくためにも、地域が身近に感じられるイベントや情報発信が大切であると改めて気づかされました。

「豊岡が好き」「これからこの場所で暮らしていきたい」という共通の想いにつながる私たち地域住民とパンさんのような在住外国人。お互いが情報発信者となることで、理解し合い、より暮らしやすい地域となることを願っています。

平成30年度 緊急食料支援事業 実績報告

～食料品とともにあなたの思いを届け、命をつなぐ取り組み～



○緊急食料支援事業とは

市民の皆様や事業所から食料品を寄付いただき、失業など様々な理由で食事の確保ができない方へ緊急的に食料品をお届けする事業です。食料品を届けるだけではなく、相談員がお困りの状況についてうかがい、生活を立て直す方法をご本人と一緒に考え、関係機関や地域と連携し生活再建のお手伝いをします。

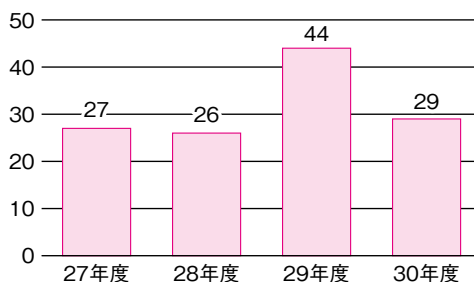
この『緊急食料支援事業』は平成27年5月にスタートし、延べ126世帯の家庭に食料品をお届けし、支援を行いました。

～「食べ物がない…」海外や都市部だけと思っていないませんか？～

子どもたちと暮らす母親のAさん。病気により仕事を続けることが難しく退職することになりました。しばらくして別の仕事が見つかったものの、給料がもらえるまでは期間があり、食料も残り少なく育ち盛りの子どもたちを抱え、相談できる人もなく今後どうやって暮らしていけば良いか悩んでいました。

緊急食料支援で当面の食事を確保し、相談員が病気のことや仕事のことについて相談を受け、関係機関と連携して支援を行いました。現在は体調に気を付けながら仕事と子育てを続けています。

緊急食料支援事業 支援世帯数



～ご協力ありがとうございました～

平成30年度は事業所や市民の皆様から延べ29件の食料品をご寄付いただきました。毎月定期的に寄付いただく事業所もあり、心からお礼申し上げます。



～食料支援へのご協力よろしくお願いします～

【提供いただきたい食料品】

レトルト食品(カレー、牛丼等)、**インスタント食品**(ラーメン、みそ汁等)、**缶詰**、**お米**など

※賞味期限が2ヵ月以上あり未開封のもの。お米は事前に下記までご連絡ください。

期限が近づいた食品は、その他の生活困窮者支援事業に活用いたします。ご了承ください。

【受 付 先】豊岡市社会福祉協議会 本所、各支所、豊岡市総合相談・生活支援センター

【お問合せ先】豊岡市総合相談・生活支援センター

住所：豊岡市立野町12-12 電話：0796-23-1940 FAX：0796-26-6070

第28回とよおか作業所まつり

おまつり
～祭・とーぷ～

きてみて
一緒に楽しんで！

- 【日 時】 6月22日（土）
10：30～14：30
- 【場 所】 とよおか作業所 愛・とーぷ（上陰）
- 【内 容】 お楽しみ抽選会、日用品バザー、たこ焼き、ソフトクリーム等各種模擬店、とよおか作業所利用者による自主製品販売 など

- ◆イベントの準備や当日のお手伝いをいただける方募集！
- ◆日用品のバザー販売いたします。ご自宅の不要になった日用品（新品未使用品）をご寄贈ください。

【問い合わせ】 とよおか作業所 愛・とーぷ
☎：24-8877

いちどきん祭 令和も大きくはばたこう！ いちどきん祭！！

- 【日 時】 6月15日（土）10：00～14：40
- 【場 所】 こうのとり荘・コスモス荘周辺
- 【内 容】
- ☆ステージイベント
オープニングセレモニー、吹奏楽演奏、フラダンス、よさこい、カラオケ大会、もちまき大会
 - ☆バザー・模擬店
黒糖ドーナツ棒、シークワサージュース、プリン、パン、たこ焼き、焼きそば、アイスクリーム、からあげ、カレーライス、お好み焼き、日用品チャリティバザー など
 - ☆その他
お茶席、介護用品の展示
- 【問い合わせ】 社会福祉法人 北但社会福祉事業会
（こうのとり荘・コスモス荘・豊岡やなぎの里・加陽いちごの里・こうのとり居宅支援センター）
☎：24-4014

ちいきからのお知らせ

2019年度 第1回 但馬地域難聴者教室

昨年ご好評だった座談会を、今年も開催します！
お誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。

- 【日 時】 6月22日（土）14：00～15：30
- 【場 所】 豊岡市民プラザ市民活動室D
（アイティ7階）
- 【内 容】 合理的配慮ってなに？座談会パートⅡ
文字情報、要約筆記付き
- 【参加費】 無料
- 【申込締切】 6月14日（金）※当日参加も可
- 【申込・問い合わせ】
たじま聴覚障害者センター（担当：木村）
☎：24-8008 FAX：24-8288

とよおか・こどもまつり

豊岡地域内の子育て支援団体が集まって開催します。
ぜひご参加ください！

- 【日 時】 6月8日（土）10：30～14：00
- 【場 所】 豊岡市民プラザ（アイティ7階）
- 【内 容】 遊びのコーナー
（お弁当屋さんごっこ、ちびっこベーカリー等）
食べっ子コーナー
（子ども元気鍋、もちもち豆腐ドーナツ等）
お楽しみステージ
（リズム遊び、手遊び等）など
- 【問い合わせ】 子育て総合センター（アイティ7階）
☎：24-4604

主催：とよおか・こどもまつり実行委員会
共催：豊岡市教育委員会、豊岡市民プラザ
豊岡市社会福祉協議会

障がい者の 居場所づくり

いずれも参加費
1人100円♪

	日時	場所	内容	申込締切	申込・問い合わせ
あいあいカフェ	6月15日（土） 13：30～15：00	城崎健康福祉センター （城崎町湯島625-9）	フルートとピアノのミニ コンサート、クイズ、歌等	当日参加可	城崎支所 ☎：32-4503
だぶるぴーす	6月15日（土） 13：30～15：00	日高健康福祉センター （日高町祢布891-2）	紙飛行機を飛ばそう、 エクササイズ	当日参加可	日高支所 ☎：42-0100



高齢者見守り標語 ～のぼり旗・クリアファイル完成！～

コミュニティみなと未来 福祉部会では、高齢者見守り標語を地区民へ募集し、標語の入ったのぼり旗とクリアファイルを作成しました。この取組みは、高齢者が増えるなかで、地区民全体で「見守ろう・声をかけよう」という輪を広げたいという想いから始まりました。のぼり旗を啓発週間（5月12日～18日、9月15日～21日）に掲げ、クリアファイルを地区に全戸配布することで、広く啓発を行います。部会長の寺口さんは「高齢化社会が進むなか、限られた者だけではなく、一人でも多くの方が見守りや声かけを行ってほしい」と話しました。



善意銀行だより

みなさまのあたたかい善意をありがとうございます。
地域福祉活動推進のために役立たせていただきます。

住 所	氏 名	金額(円)	物 品	摘 要
本所受付分				
津居山	古西 巖基	50,000	供養	
	匿 名	金一封	供養	
下 陰	勝地 利光	2,000	善意の預託	
城崎支所受付分				
湯 島	森山 睦子	金一封	供養	
日高支所受付分				
府市場	中島 敏幸	金一封	善意の預託	
日 吉	金子 たみよ	金一封	善意の預託	
	日高歌声同好会	10,000	善意の預託	
水 上	吉谷 稔子	金一封	供養	
府市場	上村 政弘	金一封	供養	
日 吉	福富 美也子	金一封	供養	
伊 府	浅沼 健治	30,000	供養	
出石支所受付分				
弘 原	武林 勝司	金一封	供養	
	匿 名	金一封	供養	
但東支所受付分				
河 本	松岡 美代子	金一封	供養	
中 山	加藤 昭一	金一封	供養	
久 畑	浅田 眞知子	金一封	供養	

収集ボランティア活動 エコキャップ収集終了のお知らせ

長年ご協力いただきましたエコキャップ（ペットボトルキャップ）の収集を、諸事情により終了することとなりました。既にご家庭等で収集されている分につきましては、6月末日まで受け付けいたします。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

（受付：豊岡市社協 本所・各支所）

平成31年4月1日～30日（敬称略・受付順）

緊急食料支援事業 食料提供

4月受付分（敬称略）

九日市下町	ローソン豊岡九日市店 西田 泰代	レトルト食品、カップ 麺、ふりかけ、味噌汁
日高町祢布	日本財団在宅看護センター豊岡 大槻 恭子	レトルトご飯、レ トルト食品、カ ップ麺、ふりか け、味噌汁
出石町宮内	（有）坂本農事	白米

心配ごと相談 一人で悩まず、まずは相談を

◆豊岡市社協 本所・各支所
（月）～（金）8:30～17:30
祝日・年末年始（12/29～1/3）は休みです

法律相談 気軽に弁護士に相談できる機会です

◆豊岡健康福祉センター（☎：23-2573）
4日（火）13:00～16:00
先着8名、電話予約のみ（受付5/29（水）8:30～）
次回、7月の法律相談日は2日（火）、
予約受付6月26日（水）8:30～

6月各種相談日

いずれの相談も無料です

結婚相談 素敵なお相手を見つけましょう

◆豊岡健康福祉センター（☎：23-2573）
7日（金）、21日（金）13:30～16:00
◆日高健康福祉センター（☎：42-0100）
12日（水）、26日（水）13:30～16:00

どちらの窓口でも、お気軽にお越しください



あいにくの雨天でしたが、公民館は大賑わい。訪れた住民からは「久しぶりにいろいろな世代が集まって嬉しい」「雨のおかげでみんな室内に長居して、賑やかでいいわあ」など、交流を喜ぶ声がありました。

4月14日、野区で「耳地蔵まつり」が開催されました。「住民が心身ともに健康な、楽しい地域であるように」という願いの込められたこのお祭りは、実行委員を中心とした地域住民により、毎年開催されています。耳地蔵建立300年を記念した今年は、例年のバザーやゲームに加え、御守りの頒布や紙芝居の披露などがありました。



日高

お地蔵さんも見守る
地域の笑顔と健康

地域で見つけた！
旬のニコニコ笑顔♪

いろいろ N I K O ニコ



4月27日、日和坂公民館にて、日和坂わいわいサロンが開催されました。

気軽に集える場が欲しいという住民の想いから、去年8月に始まったこのサロン。「みんなで楽しんで笑うことを大切にしてい、笑顔があると嬉しい」と、世話役の今本さんは話します。

今回は、体を使った歌遊びや牛乳パックのタワーづくりで、子どもから大人まで盛り上がりました。

また、長年休止していた地域の“お大師様”が今回、サロンの参加者の声で復活しました。参加者からは「懐かしい地域の行事をみんなでできて、とても嬉しい」という声が多くありました。「来年もみんなで数珠回ししよう」と住民同士、笑顔で約束を交わしました。



但東

笑顔あふれるサロンから
地域の伝統行事もつながる